

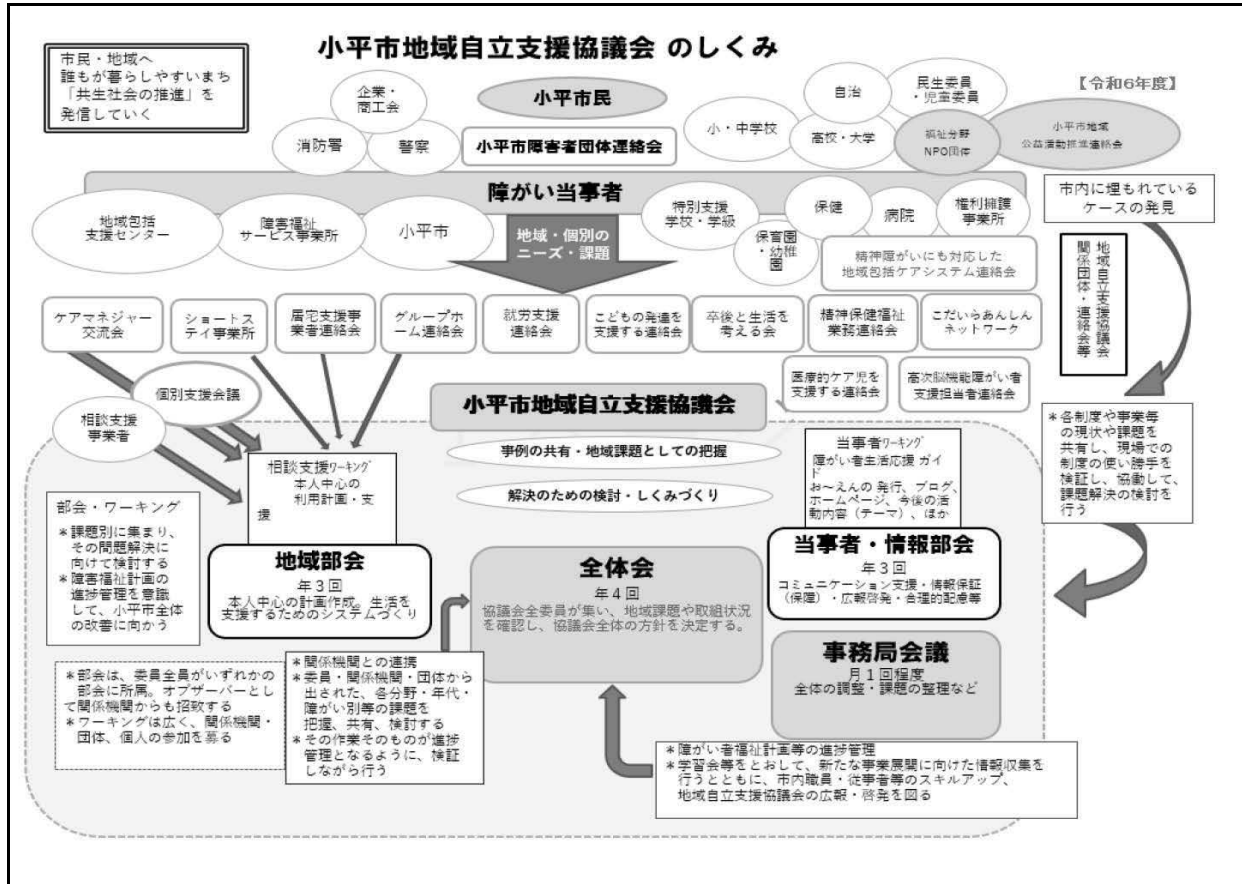
小平市

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 小平市地域自立支援協議会

(2) ホームページURL <https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/index03004013.html>

(3) 組織図



2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経 験 年 数
1	会長	杉本 豊和	学校法人 白梅学園 白梅学園大学	学識経験者		9年
2	副会長	中村 真英	小平市障害者就労・生活支援センター ぽっと	雇用関係機関		12年
3	副会長	川村 武士	地域生活支援センターあさやけ	相談支援事業者		5年
4		安家 美砂子	小平市障害者団体連絡会	家族・関係団体		2年
5		上野 あかね	小平市障害者団体連絡会	家族・関係団体		2年
6		大山 秀雄	小平市障がい者地域自立生活支援センターひびき	相談支援事業者		2年
7		河合 雄三	生活リハビリセンター絆	障害福祉サービス等事業者		5年
8		神 圭一郎	東京都立小平特別支援学校	教育関係機関		1年
9		澤 恭弘	国立精神・神経医療研究センター	医療関係者		5年
10		竹内 よし子	小平市民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員		5年
11		多々良 康子	社会福祉法人 武蔵野会 小平福祉園	障害福祉サービス等事業者		9年
12		原 綾子	東京都多摩小平保健所	保健所		1年
13		福島 健太郎	社会福祉法人 黎明会 澄水園	障害福祉サービス等事業者		2年
14		横山 八重子	一般財団法人 多摩緑成会 緑成会整育園	医療関係者		2年
15		吉田 諭史	地域生活支援センターあさやけ、みくま	障害当事者（ピアサポーター含む）		2年
16		柴田 邦臣	学校法人 津田塾大学	学識経験者		5年
17		徳永 智子	権利擁護センターぱあとなあ東京	その他		10年

(2) 委員構成

種 別	全体会・ 部会名	全体会	地域部会	当事者・ 情報部会
学識経験者		2		2
医療関係者		2	2	
保健所		1		
教育関係機関		1		1
雇用関係機関		1		1
企業		0		
障害当事者（ピアサポーター含む）		1	1	
家族・関係団体		2	1	1
身体・知的障害者相談員		0		
相談支援事業者		2	2	
障害福祉サービス等事業者		3	2	1
社会福祉協議会		0		
法曹関係者		0		
民生委員・児童委員		1		
地域住民		0		
行政職員（区市町村）		0		
行政職員（都）		0		
その他		1	1	
計		17	9	6

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること。

協議会委員の所属する事業所等の取組内容や課題についてお話しただいて情報共有や意見交換を行い、現状認識や地域として共有すべき課題把握を行う。

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

・部会において地域課題や不足資源について共有したことを全体会でも報告し、今後の改善に向けて意見交換を行った。
・日中サービス支援型グループホームの報告・評価を行った。

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

虐待防止に向けて各法人や事業所で行っていることについて共有し、引き続き取組を進めることを確認した。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

地域生活支援拠点等の強化に向けて、現状の整理・共有や、今後に向けた検討を行った。

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

障がい者福祉計画等の進捗報告、意見集約を行った。

⑫ 地域自立支援協議会の運営に関すること。

月1回程度、地域自立支援協議会会長、副会長、部会長、事務局（委託者及び市）による事務局会議を開催し、各会議体における協議内容等を調整した。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

① 情報の顕在化

地域の課題・現状・ニーズ、社会資源等に関する情報の共有。意見交換。

⑤ 地域課題の整理

全体会のほか、部会、ワーキングの場を活用し、地域課題の把握、検討、意見交換

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

障害者基本法に規定する計画（障がい者福祉計画）、障害者総合支援法に規定する計画（障害福祉計画）、児童福祉法に規定する計画（障害児福祉計画）の進捗報告、意見交換

⑧ 社会資源の開発及び改善

日中サービス支援型グループホームの報告・評価

⑩ 権利擁護・虐待防止

虐待防止に向けた取り組みの共有、意見交換

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

相談支援ワーキングを開催し、相談支援専門員の情報交換、意見交換、勉強会等を行っている。

③ 権利擁護・虐待防止

福祉人材の確保に向けての取組内容について、情報共有、意見交換

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

福祉人材の確保に向けての取組内容について、報告

② 社会資源の開発及び改善

不足する社会資源について現状認識、課題共有

イ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 法改正に伴う地域自立支援協議会の見直し等（複数回答）

⑦ その他（厚生労働省 障害者地域生活支援体制整備事業の活用）

協議会委員の一部が厚生労働省で実施したオンライン研修に参加し、そこで得た情報等を協議会内で共有した。

(2) 地域で生活する当事者の声の反映（複数回答）

① 当事者部会を設置している。（予定含む。）

年3回、当事者・情報部会を開催している。

③ 本会議や専門部会にオブザーバー等として参加して意見をいう機会を設けている。

当事者・情報ワーキングを開催し、地域で生活する多様な当事者が参加して意見交換等を行う場を設けている。

⑦ 東京都自立支援協議会の活動（地域自立支援協議会交流会、自立支援協議会担当者連絡会等）を通して情報を収集している。

地域自立支援協議会交流会に参加し、当市の地域自立支援協議会で報告をしたほか、自立支援協議会担当者連絡会への参加も行った。

(3) ICTの活用（複数回答）

① 当事者等が集合形式での参加が難しい場合、ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）で会議を実施

オンライン参加の希望があれば、その対応を行っている。

② 会議録作成等に、音声認識による文字起こしツールを活用

音声を文字化するアプリを活用している。

③ 会議等で音声認識ツールを活用し音声を文字化して表示

ワーキングではアプリを活用し、参加者の発言内容を文字化して会場内のスクリーンに表示した。

5 地域移行・地域生活支援の取組

(1) 施設入所者・長期在院者等の実態把握（複数回答）

⑥ 特に把握していない。